

2024年7月2日

横浜ゴム、タイ天然ゴム公社と共同で天然ゴム農家を継続支援 7回目のセミナーイベントを開催

横浜ゴム（株）は2024年6月、タイ天然ゴム公社（Rubber Authority of Thailand : RAOT）※1スラタニ支局と共同で、タイの天然ゴム農家に対し、天然ゴムの品質および生産性向上に向けたセミナーイベントを開催しました。本セミナーイベントの実施は2020年の初開催から数えて7回目です。

※1：タイ農業・協同組合省（Ministry of Agriculture and Cooperatives: MOAC）管轄下の組織

今回のセミナーにはスラタニ地区の70戸の農家が参加。横浜ゴム社員のほか、当社の天然ゴム加工会社のY.T. Rubber Co., Ltd.（Y.T.ラバー）の社員、タイ天然ゴム公社の職員とともに、約5時間にわたり、天然ゴムの苗木の選択や植え方に加え、肥料を与えることの目的と効果や天然ゴムへの異物混入防止の重要性などについて理解を深めました。参加者からは、「今まで経験に頼っていたが、今回のセミナーで天然ゴムの品質や生産性を高めるための知識を得ることができ、非常に良い経験となった。」などの声が寄せられました。また、参加者にはタイ天然ゴム公社の知見を活かした肥料を1農家あたり250kg無償提供しました。

横浜ゴムは2020年1月、当社の「持続可能な天然ゴムの調達方針」に基づき、タイ天然ゴム公社と天然ゴム農家の経営支援およびサプライチェーンの透明性と健全性を確保するためのトレーサビリティの向上に協力していく覚書を締結しました。セミナーイベントは本覚書に基づき、農家支援の一環としてY.T.ラバーが立地するスラタニ地区で開催しているもの。また、肥料を提供した農家からは天然ゴム物性や生産性についての追跡調査への協力を得ています。

横浜ゴムは、持続可能な天然ゴムのためのプラットフォーム（GPSNR※2）に創設メンバーとして参画するとともに、2021年9月には従来の「持続可能な天然ゴムの調達方針」を改定し、GPSNRの活動との連携を強めています。今回のセミナーイベントは同方針に掲げられた「サプライチェーンに関わる方々への支援」を反映したもので、今後も同方針で定めた活動指標に沿った取り組みを実施し公表していきます。また、国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に取り組んでおり、その一環として天然ゴムをはじめとした持続可能な原料調達に向けた活動を推進しています。

※2：GPSNR=Global Platform for Sustainable Natural Rubber

横浜ゴムはサステナビリティ・スローガンとして「未来への思いやり」を掲げ、事業活動を通じた社会課題への取り組みにより、共有価値の創造を図っています。



天然ゴムセミナーの様子（左）と提供された肥料の前で記念撮影をする農家の方々

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：高橋
TEL：0463-63-0414 FAX：0463-63-0552